

体験談（ブースカ）

★2007年8月、血尿。左腎細胞ガンで副腎、腎臓を全摘。

術後、肺へ転移予防の為に1ヶ月間位、毎日1回、免疫療法インターフェロン自己注射。

副作用：うつ状態、肝機能悪化、食欲不振。

その後、肺・肝臓・腹膜に転移。

★2008年8月、分子標的治療薬ネクサバール服用。

投薬方法：標準量1日2回朝、夕2錠。

副作用：手足症候群、高熱、肝機能悪化、湿疹、脱毛。

辛かったのは、手足症候群で、ペットボトルが開けられず、歩く時も足底が痛くて、ひどいときは車椅子使用。

副作用対策で投薬量調整。

3ヶ月間位、服用したが、肝機能悪化の為、中止。

★2008年12月、入院して免疫療法インターロイキン（イムネース）の点滴治療。

副作用：40℃以上の高熱が半日（解熱剤使用）、むくみ、肝機能悪化。

肝機能悪化、血小板減少の為、続かず…。（この頃は入退院繰り返し）

★2009年1月から分子標的治療薬スーテント服用。

投薬方法：標準量1日1回朝4錠。4週間服用、2週間休薬。

副作用：ネクサバールと同じ症状。他に、味覚障害、白髪、血小板減少。

ネクサバールと同じように投薬量を調整しながら飲む。

自分に合った服用方法は、1日1回朝2錠。4週間服用、2週間休薬。

場合によって、3週間服用、3週間休薬も。

スーテントが一番、体に合って1年半も飲み続けられた。

スーテントの効果で、肺・肝臓・腹膜の転移ガンが縮小したけれど、次第に体が慣れてしまい効かなくなって断念。

★2010年9月、分子標的治療薬アフィニトール（エベロリムス）服用。

投薬方法：標準量1日1回空腹時2錠。

副作用：間質性肺炎、口内炎など。

私の場合は、まだ飲み始めたばかりなので、副作用は軽度で、食欲不振、咳が出る程度。

★座骨転移が見つかり、一部の骨が溶けて無くなっている状態なので、10月中旬から月1回のペースで、ゾメタ点滴治療開始。（通院にて）

副作用：発熱。（2回目以降は出なくなるとのこと）

★現在はアフィニトール、ゾメタで治療中。